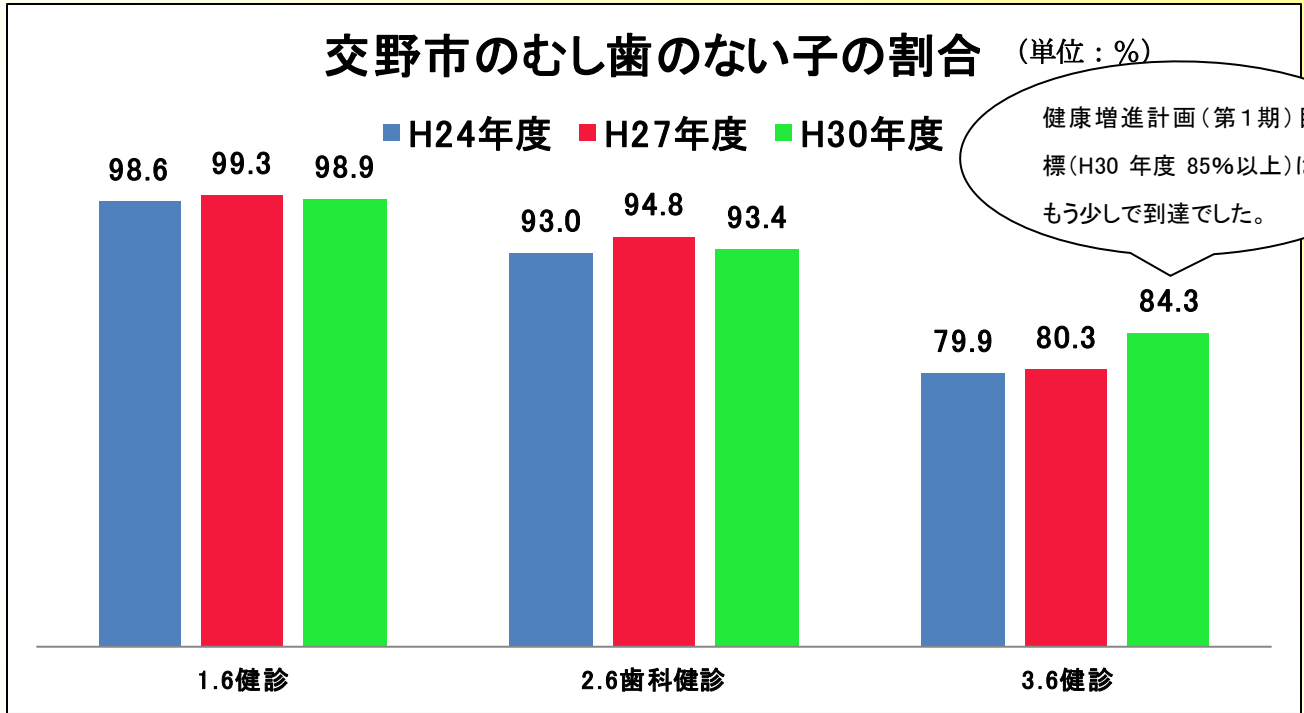




交野市の子ども達の歯の様子

交野市では1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳6か月児健診でお子さんの歯科検診とお口のむし歯菌の元気よさを調べるCAT(ツ-イー)検査を実施しています。



むし歯になりやすい生活習慣 (H30年度各健診アンケート集計結果より)

2歳6か月児歯科健診

- ① 哺乳ビンを使用している子はしていない子に比べ**2.7倍**むし歯がありました。
- ② 遊び食べする子はしない子に比べ**2.3倍**むし歯がありました。
- ③ 母乳を飲んでいる子*は飲んでない子に比べ**2.2倍**むし歯がありました。

*母乳を飲んでいても、規則正しい生活と仕上げ磨きができているは大丈夫です。

3歳6か月児健診

- ① 遊び食べする子はしない子に比べ**2.1倍**むし歯がありました。
- ② 間食回数3回以上の子は2回以下の子に比べ**1.7倍**むし歯がありました。
- ③ 就寝時間が遅い子*は早い子に比べ**1.6倍**むし歯がありました。

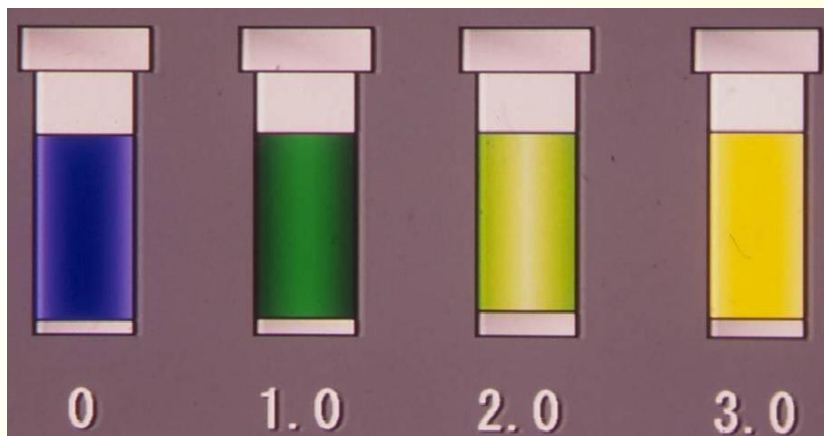
*就寝時間午後10時以降

だらだら飲食する習慣がむし歯になりやすい要因となっています。
仕上げ磨きは歯が生えはじめた頃からの練習の積み重ねが大事です。
痛くない工夫をしながら、毎日少しずつ練習をしていきましょう。



☆CAT（シーエーティー）検査とむし歯予防について

CAT検査はお子さんのお口の中のむし歯菌が、砂糖（ショ糖）がある時に作りだす酸がどれくらい強いか（攻撃力）を調べるテストです。口の中と同じ状態をアンプルの中で再現し、48時間後の試験液の色変化によりむし歯になりやすさを判定します。ただし、CAT（シーエーティー）検査の結果が悪いからといって必ずむし歯ができるわけではありません。それはなぜかというと、むし歯は攻撃力（むし歯を作ろうとする要因）>防御力（歯を守ろうとする要因）となった場合にでき始めるため、防御力を高め、攻撃力を弱めることで予防が可能だからです。



弱い酸
（歯が溶けにくい）

強い酸
（歯が溶けやすい）

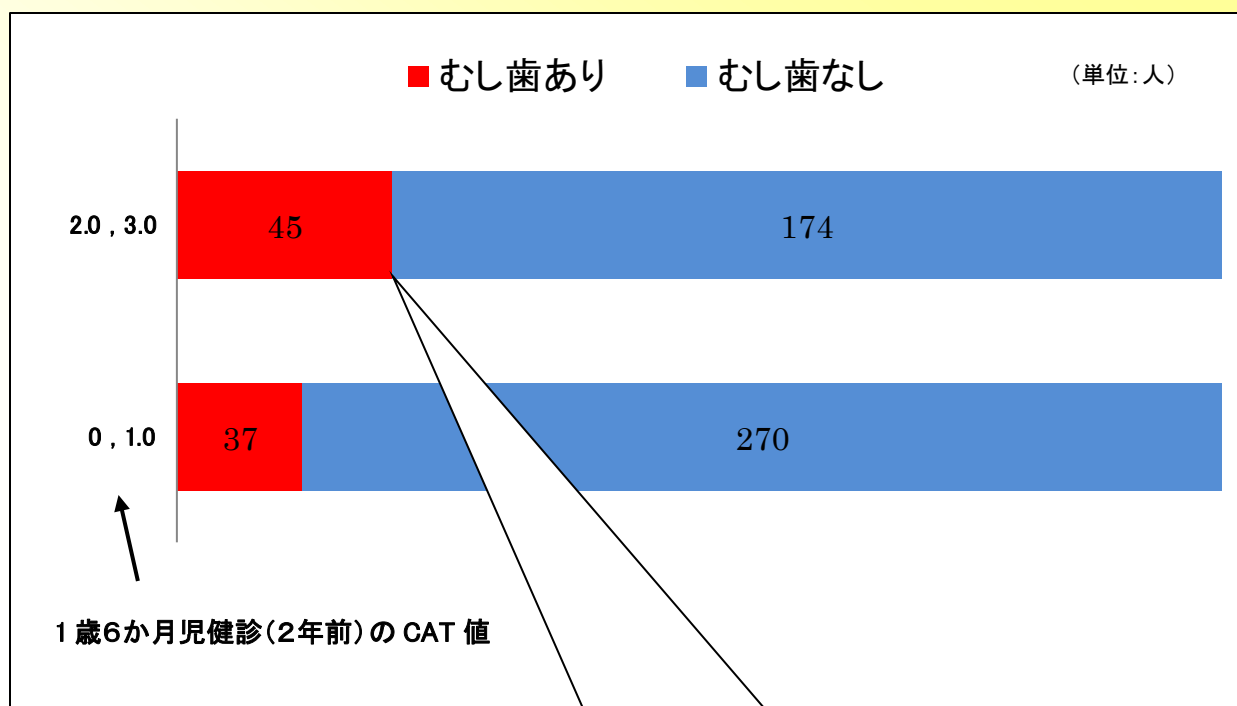
防御力

- 唾液の分泌量
- 唾液緩衝能（酸を中和する力）
- よく噛んで食べる
- 規則的なライフスタイル
- 仕上げ磨きの習慣がある
- 家庭でのフッ素入り歯磨剤等の利用
- 歯科医院での定期的なフッ素塗布

攻撃力

- むし歯菌の数
- おやつのだらだら食い
- 哺乳ビンでのジュースやスポーツドリンクのだらだら飲み
- 歯が生え揃い、離乳食完了後も頻回に母乳を飲んでいる
- 不規則的なライフスタイル
- 仕上げ磨きの習慣がない

☆3歳6か月児健診でのむし歯の状況（1歳6か月児健診時（2年前）CAT検査結果での比較）



CAT 値 2.0,3.0 のむし歯菌の攻撃力が強かったお子さんの方が、2年後の3歳6か月児健診でむし歯の割合が高くなっていますが、1歳6か月児健診後、生活習慣の見直しで、むし歯なしとなるお子さんも増えています。